

# わが

## 「みんなできつくる」わがのまち能代」を 目指して

はじめに

秋田県の北西部に位置する能代市は、平成18年3月21日に旧能代市と旧二ツ井町が合併して誕生しました。母なる川・米代川が市域の中央を東西に流れ日本海に注ぎ、その下流部には能代平野が広がり、大部分が農地として活用されています。海岸沿いには、海風による飛砂を防ぐために植栽されてきた約700万本の黒松林「風の松原」が連なっています。また、桜やつつじの美しい景勝地「きみまち阪」、原生林の七座山、日本一高い杉のある「仁鮒水沢スギ植物群落保護林」などを有し、北には世界自然遺産白神山地を望むことができます。海、山、川に恵まれた大変自然豊かなまちです。

かつては、天然秋田杉の生産地として栄えた旧二ツ井町と木都能代として木材産業で栄えた旧能代市ですが、近年は、日本海沿岸東北自動車道、リサイクルポート能代港の整備などが進められ、基幹産業である農林業の振興をはじめ、観光振興、再生可能エネルギー導入への取り組みなど新たな産業の創出に取り組んでおります。

### 大型七夕の運行

能代の代表的な夏祭りとして、8月6・7日の能代七夕が知られています。本年8月3日・4日には、能代商工会議所が主体となつて「天空の不夜城」と銘打った大型七夕が運行されます。城郭型の5丈8尺(約17・6m)の大型灯籠を一世紀ぶりに復活させるものです。能代の夏祭りを大いに盛り上げ、地域に元気を呼び込み、さらには、

北東北の観光を象徴するような行事に育つよう期待しており、広く周知し、誘客にも努めているところです。今後は、23mの灯籠製作を目指したいと考えており、五能線沿線、白神山周辺地域との連携を図りながら、広域観光の振興につなげたいと考えております。

いよいよ、この10月にはJRなどによる秋田デスティネーションキャンペーンが本番を迎えます。また、本年は白神山世界自然遺産登録20周年でもあります。県内外から多くの方々に来訪していただけるよう、関係団体などと連携し、さまざまなイベントなどを予定しております。本市をPRする絶好の機会ですので、地域の魅力向上や誘客のための基盤強化を図り、交流人口の増加による地域の



1世紀前に運行していた大型の城郭灯籠

合に、健康チャレンジポイントが付与され、地元の商業団体が発行する買い物ポイントカードに加算できるというものです。市民一人一人が健康づくりに関心を持つきっかけとなり、健康増進につながっていくことを願っております。

### 恋文にちなんだまちづくり

二ツ井地域では、明治天皇の東北巡幸の際、夏の長旅を気遣う皇后の和歌がここで天皇を待っていたことから「後阪」と名付けられたことにちなみ、かつて旧二ツ井町では、「きみまち恋文コンテスト」

を開催してしました。10年間に応募された恋文、3万4000通のうちの入賞作品を市ホームページで紹介しておりますので、皆さまにもご覧いただければと思います。その「恋文」をコンセプトに、地元商工会、観光協会、市などが連携し、恋文商店街の推進、きみまち阪活性化、七座山を巡るロマンチックロードの整備を柱としたまちづくりを進めています。

また、本年4月にはきみまち阪公園休憩所に「きみ恋カフェ」をオープンしました。きみまち阪のシンボルともいえる「屏風岩」が見える大きな窓、悠々と流れる米代川や緑豊かな七座山の眺めを楽しめるウッドデッキなど大自然を満喫しながら、食事を楽しめる所です。ハートをモチーフにした食器を用いるなど調度品も大変工夫を凝らしたものになっていきますので、多くの皆さまにお越しいただきたいと考えております。

### むすびに

本市では、平成20年3月に能代市総合計画を策定し、「能代市民の和」環境で活力を生み出す環、「未来へつながる輪」を基本理念とし

### プロフィール

- ◆ 面積 426.74km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 5万8527人
- ◆ 世帯数 2万4679世帯

〔将来都市像〕みんなできつくる「わがのまち能代」

〔まちの特徴〕海、山、川に恵まれた自然豊かなまち。基幹産業は農林業。木部、バスケットの街、恋文のまち、宇宙のまち、エネルギーのまち

〔市町村合併〕平成18年3月21日、旧能代市と旧二ツ井町が合併

〔特産品〕秋田杉桶樽、檜山納豆、地酒、ネギ・みょうが・山ウド・キャベツ、



能代市長 齊藤滋宣



豚なんこつ

〔観光〕旧料亭金勇、風の松原、檜山城跡周辺・多宝院、きみまち阪、七座山、日本一高い天然秋田杉「きみまち杉」

〔イベント〕きみまち阪桜まつり・つつじまつり、能代風揚げ大会、「能代カップ」高校選抜バスケットボール大会、日吉神社中の申祭縁見まつり、港まつり能代の花火、秋田杉の里二ツ井まつり、能代七夕、おなこりフェスティバルin能代、きみまの里フェスティバル

て、感謝と思いやりにあふれる「わがのまち 能代」を市の将来像に掲げ、各種政策・施策を展開しております。

本年3月には、今後5年間を期間とする後期基本計画を策定し、産業創出や雇用の確保、市民が地域で活躍できる環境整備などを優先課題とするともに健康づくり

本市では、すべての市民が生涯にわたって健康で心豊かに暮らすことができる社会の実現に寄与するため、平成24年度に「能代市健康づくり推進条例」を制定しました。

### 市民みんなが健康であるように

これ为契机に、健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に進めていきたいと考えており、6月から健康チャレンジポイント事業を開始しました。これは、特定健診や各種がん検診の受診のほか、市が主催する健康づくりの推進に関するイベントなどに参加した場

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



本年4月にオープンした「きみ恋カフェ」

## 笑顔あふれる優しいまち さつきのふるさと鹿沼

### さつきを鹿沼から世界へ アピール

鹿沼市は栃木県の中西部に位置し、東京から100km圏内で、西部は日光連山に連なる自然豊かな中山間地、南東部は関東平野に面した肥沃な田園地帯、そして市街地でも鮎釣りができる、豊かな自然に恵まれた花と緑と清流のま



二十数台の絢爛豪華な彫刻屋台が繰り出す「鹿沼ぶつけ秋祭り」

ちです。

また、東北自動車道鹿沼ICがあり、鉄道もJR日光線、東京スカイツリーに直結する東武日光線が走る、各種産業と自然とのバランスが取れた素晴らしいまちです。

さらに、本市は「さつき」の本場。5月の最終土曜日から10日間、全国一のさつきの祭典「鹿沼さつき祭り」が鹿沼市花木センターなどで盛大に開催されます。また近年は、さつきや盆栽の国際的なPRにも取り組んでいます。平成24年には園芸の先進国オランダで国際園芸博覧会「フロリアード2012」に本市として出展しました。また、本年4月20日から6カ月間、韓国で開催している「2013順天湾国際庭園博覧会」にも本市の出展ブースを設けています。さつき盆栽や花木類、造園技術を積極的にアピ

ルし、輸出拡大と観光PRを図り、魅力ある鹿沼市を世界にアピールします。

### 13のゴルフ場とジュニアゴルフ大会

市内にはゴルフ場が13カ所あり、ゴルフのまちでもあることから、平成24年8月に第1回鹿沼市ジュニアゴルフ大会を開催しました。

初めての大会でしたが、1都8県から150人以上の参加者を迎え、盛大に開催できました。

大会会場の鹿沼カントリッククラブは、漫画雑誌「ビッグコミックオリジナル」に連載中のゴルフ漫画「風の大地」の舞台としても有名です。

この大会は、今後も毎年8月上旬に実施し、「ゴルフのまち鹿沼」のジュニア大会として定着を図ってまいります。

### 27台の絢爛豪華な彫刻屋台と鹿沼ぶつけ秋祭り

国指定重要無形民俗文化財「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」を中心とする「鹿沼ぶつけ秋祭り」は、江戸時代から続く伝統ある祭りで、10月の第2土曜・日曜日の2日間は多くの観光客でにぎわいます。

鹿沼の誇りである27台の絢爛豪華な彫刻屋台による今宮神社への練り込み・練り出しや、屋台パレード、そして辻々では、数台の彫刻屋台が向き合い、お囃子を競演する「ぶつけ」が行われます。

これだけ絢爛豪華な彫刻を施した屋台が二十数台も一堂に会する祭りは、全国でも類を見ないのではないかと思えます。

### まちの駅 新・鹿沼宿と中心市街地の活性化

市内には日本一の数を誇る88カ所の「まちの駅」があります。道を聞きたい、休憩したい、トイレを

借りたとき、気軽に立ち寄れるのが「まちの駅」です。

「まちの駅 新・鹿沼宿」は、平成23年4月に、新たな観光交流拠点として、また、「まちの駅」のキーポイントとして中心市街地にオープンしましたが、大変好評をいただき、オープン2周年で、来館者数約125万人、売上高は約5億8000万円を達成しました。

新・鹿沼宿は、気軽に立ち寄れる休憩所・案内所として、また、「かぬまブランド」の特産品の販売をはじめ「にらそば」など地域食材を生かした食事やいちご・ニラ・トマトなど新鮮な農産物、さらには観光や交流イベントなど「かぬまのいい



中心市街地ににぎわいを呼び込む「まちの駅 新・鹿沼宿」

もの「情報を提供し、まちなかににぎわいを呼び込んでいます。

まちの駅として重要なトイレも、日本一きれいなピカピカトイレを目指しています。市内を運行するリーバスの発着点でもあり、観光客をはじめ、市民にとっても使いやすい「駅」であり、人と人の結節点の役割も担っています。

また、「ネコヤド商店街」なども中心市街地活性化に大きく貢献しています。「ネコヤド商店街」は、今までにない視点を持った次代を担う元気なチャレンジャーたちが中心となり、仲間を増やしながら年々エリアを拡大し、進化しています。

さらに若者を中心としたグループによる商業イベント「楽市」も定期開催され、市内外からの多くの出店者・来場者でにぎわっています。中心市街地の空き店舗などを活用した新規出店の動きもあり、こうした新規創業のニーズに対し、市でも支援をしています。

このような若者の奮闘に呼応する形で既存商店街の頑張りも目に付くようになりました。これからも、市民のやる気を応援しながら、まちの活性化を図ってまいります。

### 協働のまちづくり

平成24年4月に「鹿沼市自治基本条例」が施行されました。この条例は、市民が中心となり、何年も議論してまちづくりへの思いを条例にした全国に誇れる「市民手づくりの条例」であります。条例の理念に基づき、市民による「まちづくりアイデア会議」も各地域で行われ、

さまざまな新しい取り組みが始まっており、大変素晴らしいことと感ずるとともに、大きな期待をしています。

今後とも、市民との協働のまちづくりを進め、市民一人一人が活力を持ち、安らぎを感じながら安心して暮らすことができる、ふるさと鹿沼のまちづくりに、全力を傾注してまいります。

### プロフィール

- ◆ 面積 490・62km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 10万590人
- ◆ 世帯数 3万5525世帯

〔将来都市像〕自然と共に歩む 人情味あふれる絆のまち

〔まちの特徴〕各種産業と自然とのバランスがとれたさつきのまち。絢爛豪華な彫刻屋台が多数繰り出す秋祭りは必見

〔市町村合併〕平成18年1月1日、栗野町を編入合併

〔特産品〕いちご、にら、トマト、は



鹿沼市長 佐藤 信



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 環境と子育て施策の充実で 関西一魅力的な住宅都市に

### 発展し続けるまち、生駒

奈良県の北西部に位置する生駒市は、西に生駒山、東に矢田丘陵が広がる緑豊かな住宅都市です。

近鉄生駒駅から大阪市中心部の難波駅まで約20分という絶好の交通アクセスを生かし、昭和40～50年代に掛けて、大規模な新興住宅地が開発され、発展を遂げました。平成18年に近鉄けいはんな線、平成21年に阪神なんば線が開通したことにより、交通の利便性は一層高まっています。少子化・人口減少の時代にあつて、平成22年に人口12万人を突破。現在も微増を続け、市制施行の40年前と比べると3倍もの人口規模になりました。全国都市の「住みよさランキング(2012年)」(東洋経済新報社)では関西111市中3位、全国では810市区中

23位、「安心・安全なまちランキング(同社)」では3大都市圏を含む都市型自治体でトップに位置付けられるという高い評価を得ています。

### 環境ナンバー1自治体を 目指して

良好な住環境を発展させるため、市民とNPO、生駒市が2年間で60回を超える会合を実施し、平成21年度に環境基本計画を策定しました。環境基本計画の推進組織「ECO-net生駒」は、会員数が130名を超える組織に成長しました。市民が発案した計画を多様な主体で実践し、市民向けの環境講座、幼稚園などへの雨水タンク設置、レジ袋削減、シュレッダー紙による再生トイレットペーパー「いこま紙」の販売など、具体的な成果をあげ、環境推進の母体となっています。

1人の市民が始めた陶磁器・ガラス製食器のリユース・リサイクルが生駒市との協働事業となり「容器包装3R推進環境大臣賞」を受賞するという全国に先駆けた取り組みや国土交通大臣表彰を受けた里山の保全・環境教育を実践する市民団体の活躍などが、先進的な取り組みを持続的に実現する「市民力」という基盤が整っていることを物語っています。

平成24年には、市内の公立中学校が文部科学省の「スーパーエコスクール実証事業」のモデル校3校の1つに認定されました。この事業は、省エネの徹底や太陽光発電の導入などにより、学校で使うエネルギー消費を実質ゼロにすることを目指すものです。平成26年のエコ改修工事に向けて、生徒代表や教員、地域住民などが参加してワークショップ



屋上に太陽光発電設備を設置するスーパーエコスクール

ブを重ね、計画をまとめました。

本年3月には、本市水道事業の山崎浄水場で全国初となる再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)を活用した小水力発電施設が稼働しました。これは県営平群調整池から同浄水場に水が送られてくる際の高低差により生じる水圧を生かして発電するものです。総事業費は約1億4000万円ですが、1kwh当たり35・7円で売電することで20年間で約8000万円の利益が出ると見込んでいます。

### 「子育てするなら生駒」を アピール

環境施策とともに重点的に取り組みを進めているのが、「子育てす



市立病院イメージバス

地域完結型医療の実現を目指し、民間医療機関を指定管理者とする生駒市立病院の建設工事の着工を予定しています。二次救急医療や小児二次医療などの政策医療を担う地域の中核的な病院として、平成27年に開院する予定です。本市および周辺地域の医療機関とも連携し、安心して暮らせる医療体制の構築に努めます。

### 「関西一魅力的な住宅都市」 目指して ささらなる前進を

本市の北部にある高山地区は、全国シェアの9割を占める茶室の里。その製法は「子相伝」の技とされ、現在に至るまで受け継がれています。また、ここにはノーベル

医学・生理学賞を受賞された山中教授が在籍した奈良先端科学技術大学院大学をはじめ、民間企業の研究施設などがあり、関西化学術研究都市の一角として歴史と文化が融合したエリアです。ここに、リニア中央新幹線の新駅を誘致するべく、現在調査を進めています。新駅誘致は、本市だけではなく、関西全体の活性化にもつながるものであり、今後も市議会や商工会議所と協力して新駅誘致の運動を



市内の浄水場で稼働する小水力発電施設

また、医師不足や財政難で全国的に公立病院が閉鎖・縮小する中、

展開していきます。

### プロフィール

- ◆ 面積 53・18 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 12万1227人
- ◆ 世帯数 4万8120世帯

〔将来都市像〕市民が創る めくもりと活力あふれるまち・生駒

〔まちの特徴〕緑豊かな環境と大阪都心部への交通便利性に恵まれた住宅都市。関西化学術研究都市の一端を担う



生駒市長 山下 真



〔特産品〕茶室、茶道具、竹製品、編針

〔観光〕生駒山上遊園地、生駒山麓公園、宝山寺と参道、くろんど池自然公園、長弓寺本堂

〔イベント〕生駒山スカイウォーク、いこまどんどこまつり、生駒・高山竹あかりの夕べ、往馬大社火まつり、いこま国際音楽祭

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 親と子と孫が一緒に暮らす「朝倉市」を目指して

### 自然に恵まれたまち

福岡県の中央部、筑後平野北部に位置する朝倉市は、北に1000m級の古処山、馬見山山系の頂を、南に日本三大暴れ川で有名な筑紫次郎(筑後川)に囲まれた、自然豊かで、古来より農業の盛んな土地と気候に恵まれています。

この筑後川には1790年に完成した全面石畳式の山田堰(せき)があり、その山田堰から取水し、670haを潤す堀川が、歴史的に干ばつで苦しめられた田畑を潤しています。高台の田畑に水を揚げるため、今の時代でも現役の水車群が活躍しています。

この田園風景は、誰もが描くふるさとを思い起こさせ、県内はもとより、全国から多くの皆さまに足を運んでいただいています。

### 都が置かれたまち

邪馬台国伝説は、日本の多くの地域で聞かれますが、この朝倉の地も一つの候補地として挙げられています。最大の特徴は、朝倉地方の地名の配置が、奈良大和地方に奇妙なまでに一致しているということです。また、邪馬台国の時代の遺跡が、この朝倉地方に数多く点在しており、平成4年には、平塚川添遺跡が発見、国指定史跡として約10haが現状保存され、公園として開放しています。

大和朝廷の時代に移ると、百済を助けるため斉明天皇は、皇太子の中大兄皇子(後の天智天皇)らに従え、博多に兵を進めました。そして、661年に40km内陸の朝倉橘広庭宮を建てました。短い期間ではありますが、都が



国内12ヶ所で見られない鶴飼

置かれた都市は、京都、奈良など限られています。天智天皇が朝倉の地で詠まれた「秋の田のかりほの庵の苫をあらみわが衣手は露にぬれつつ」は、小倉百人一首の筆頭歌として親しまれています。

このことにちなみ、本市では、百人一首を活用したまちづくりを進めており、小中学校での授業やクラブ活動、小学生大会を開催することと併せ、九州一円を対象にした百人一首大会を催し、A級から初心者まで、約200人の方に参加いただいています。

時は移り、江戸時代には、福岡藩黒田家52万石の支藩として黒田家秋月藩が置かれました。平成26年のNHK大河ドラマ「軍師官兵

### 日本の食を支えるまち

本市の基幹産業である農業は、県内有数の生産高を誇り、ねぎは「博多万能ねぎ」のブランド名で全国に流通し、全国1位の出荷量で、「空飛ぶねぎ」として有名です。

また、甘柿の出荷量も全国1位で、近年では、冷蔵柿も開発され、長期間保存可能となり、春まで柿が楽しめるようになりました。

新しい特産品開発も積極的に進めており、福岡県が開発したいちじく「とよみつひめ」による日本一のいちじく産地を目指すとともに、種のない甘柿「秋王」の生産に力を

注いでいます。

そのほか、米、麦、畜産、野菜のほか花など農業においては、トップレベルの量と質を誇るまちとなっております。

### 恵まれた都市環境

本市は、3つのインターチェンジ(杷木・朝倉・甘木)と3つのダム(江川・寺内・小石原川(建設中))、そして3つの財産(人・土地・水)に恵まれた環境を生かした企業誘致を推進しています。

キリンビールやブリヂストンなど大規模な工場が操業する中、さらには、九州に広がる自動車産業の進出が、本市にも好影響を与えています。市では、この絶好の機会に、より多くの企業進出を促進するた



心を一つに! 1039人1040脚 ギネス新記録達成!

め、産業の振興や雇用の確保を図れるよう、企業立地促進条例による優遇措置を施し、地域の活性化を図っています。

### 安全・安心のまち

平成24年の九州北部豪雨等は、本市にも死者や家屋の全半壊、床上浸水など甚大な被害をもたらし、市民生活と農業をはじめとする地域産業に甚大な被害をもたらしました。

この災害に際し、全国の多くの皆さまから物心両面にわたるご支援をいただきました。この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

山林、河川、道路等の復旧はもとより、行政と地域が一体となって災害に対応するため、自主防災組織を中心とした地域防災力の向上と、災害時要援護者支援システムの確立を進めています。

### 人が輝くまち

災害からの復興をアピールしようと地元若者グループが立ち上がり、朝倉地域の市外局番「0946」にちなみ、「946人947脚」でギネス記録にチャレンジしました。

挑戦の舞台は、豪雨で濁流が押し寄せた原鶴温泉そばの筑後川放水路。ちなみにこの原鶴温泉は、全国でも珍しい鶴飼が見られ、ダブル美肌の湯として多くの方に

愛されています。

好天にも恵まれた3月24日、参加者数は予想を上回り、1039人1040脚で50m踏破に挑み、約20分掛けて「記録達成」が宣言されました。

被災地からも多くの参加があり、「復興、元氣、結束と感動」をアピールするとともに、参加者一人一人がはつらつと輝いていたシーンでした。

### 日本一のふるさと「朝倉」づくり

人、自然、歴史に恵まれた環境を生かし、基幹産業である農業の振興と併せ、産業の振興を図ることと、雇用の場を創出しなければなりません。これらを推進するとともに、さらに住みやすい環境を住民皆さまと語り合いながら、朝倉で親と子と孫が暮らせる環境づくりを推進していきます。

### プロフィール

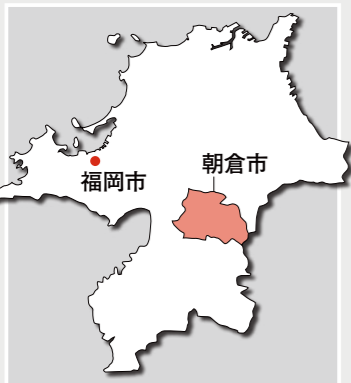
- ◆ 面積 246.73km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 5万7117人
- ◆ 世帯数 2万801世帯

〔将来都市像〕水を育み 街を潤す 健康文化都市 「共生」と「交流」を創る「自立」と「責任」のまち  
〔まちの特徴〕百人一首ゆかりの地として、悠久の歴史、薫り高い文化に包まれた水と緑のまち

〔市町村合併〕平成18年3月20日、甘木市、杷木町、朝倉町による対等合併



朝倉市長 森田俊介



〔特産品〕ねぎ、柿、梨、いちじく、花き、葛、スイセンズリ  
〔観光〕原鶴温泉、山田堰と堀川の水車群、秋月城下町、キリンビール花園、平塚川添遺跡公園  
〔イベント〕花の邪馬台国まつり、原鶴温泉川開き花火大会、甘木川畔花火大会、三連水車魚のつかみ取り大会、筑後川カッパスロンin原鶴温泉百人一首朝倉大会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。